

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	香川県地域水産業再生委員会 東讃地区部会
代表者名	部会長 嶋野勝路

再生委員会の 構成員	引田漁業協同組合、東讃漁業協同組合、津田町漁業協同組合、鴨庄漁業協同組合、さぬき市漁業協同組合、牟礼漁業協同組合、庵治漁業協同組合 東かがわ市、さぬき市、高松市 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	[範囲] 高松市の一部（庵治町、牟礼町）及び高松より東の地域
	[漁業の種類] 魚類養殖業（40経営体）、ノリ養殖業（45経営体）、カキ養殖業（32経営体）、小型機船底びき網漁業（210経営体）、定置網漁業（1経営体）、船びき網漁業（11経営体）、敷網漁業（49経営体） 計388経営体

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

東讃地域は、香川県の東部に位置し、播磨灘に面した比較的単調な磯と浜が混在する海岸線を有している。

漁業種類については、小型機船底びき網、定置網、船びき網などの漁業が主要な漁業として営まれているほか、ブリ類を中心とした魚類養殖業、ノリ養殖業及びカキ養殖業が漁業生産の中心となっている。

[漁船漁業]

域内には、県内で最も多い水揚量がある引田漁協や登録漁船数、水揚量ともに県下有数の規模を誇る庵治漁協があり、漁船漁業の盛んな地域であるが、近年の漁業コストの向上、魚価の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

[養殖業]

東讃地域には、日本で初めてハマチ養殖に成功した安戸池があり、養殖業が盛んな地域となっている。域内では、県魚であるハマチをブランド化した『ひけた鯛』、『オリーブハマチ』や瀬戸内海の気候風土に合わせた飼育方法の確立により生まれた『讃岐さーもん』などの養殖が行われている。しかし、近年の消費者の魚離れにより、期待どおりの価格向上、出荷量増加につながっておらず、品質の高い県内産養殖魚の知名度向上、販売拡大が急務となっている。

ノリ養殖については、かつては香川県全体の生産額が 111 億円に達したこともあり、本県

は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの上昇により、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

また、当地域は県下有数のカキ養殖地域であるとともに、新たにワカメやアオノリ養殖にも意欲的に取り組んでいる。

(2) その他の関連する現状等

- ・ 県産『ブランド魚』の認知度が低い。
- ・ 東讃地域は香川の最東部の地域であり、神戸淡路鳴門道を経由した京阪神からのアクセスが良い地域となっている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

- 漁業収入の向上
 - ・ 魚類養殖の振興
 - ・ ノリ養殖の振興
 - ・ 漁業体験型イベントによる外国人観光客の誘客
 - ・ 漁港施設の整備
 - ・ 収入の安定化
 - ・ 浜の多面的機能発揮
- 漁業コスト削減
 - ・ 省燃油
 - ・ 魚類養殖業給餌コストの削減
 - ・ 養殖カキ殻の活用

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

香川県資源管理指針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理計画に基づき、漁獲努力量の削減に努めており、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行っている。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成26年度）

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組	漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より0.6%増加） <ul style="list-style-type: none">○ 魚類養殖の振興<ul style="list-style-type: none">・ 魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。・ 魚類養殖経営体は、統一した手法により香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えることによる「オリーブハマチ」について、オリーブの植樹を行うことでオリーブ葉の安定供給により増産を図る。○ ノリ養殖の振興
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、アオノリ養殖の新規事業化に取り組むとともに、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組む。 <p>○漁業体験型イベントによる外国人観光客の誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県、水産関連団体（香川県漁業協同組合連合会、さぬき海の幸販売促進協議会等：以下同様）と連携し、高松空港への直行便が就航している台湾、中国、韓国からの団体客を中心とした外国人観光客を、魚釣り、養殖魚への餌やり、地引網体験などの体験型イベントに誘客することで、漁業外収入の獲得につなげる。 <p>○漁港施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県に対し、クレーン設備等漁業作業効率化につながる漁港施設の整備を要請する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ふらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理や藻礁の設置等藻場・干潟の保全等を地域住民の参加や理解を得る形で行う。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。（基準年より 5.0%削減）</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の 104 名の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・33 名の漁業者グループは、省エネ機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・省燃油活動推進事業 [国] ・省エネ機器等導入推進事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国]

	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県] ・地域特産物開発支援事業 [県]
--	--

2年目（平成27年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 1.2%増加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○魚類養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、統一した手法により香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えることによる「オリーブハマチ」について、オリーブの植樹を行うことでオリーブ葉の安定供給により増産を図る。 ○ノリ養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、アオノリ養殖の新規事業化に取り組むとともに、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組む。 ○漁業体験型イベントによる外国人観光客の誘客 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県、水産関連団体と連携し、高松空港への直行便が就航している台湾、中国、韓国からの団体客を中心とした外国人観光客を、魚釣り、養殖魚への餌やり、地引網体験などの体験型イベントに誘客することで、消費拡大につなげる。 ○漁港施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県に対し、クレーン設備等漁業作業効率化につながる漁港施設の整備を働きかける。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理や藻礁の設置等藻場・干潟の保全等を地域住民の参加や理解を得る形で行う。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。（基準年より 5.5%削減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・33名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を

	<p>削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器等導入推進事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

3年目（平成28年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 1.8%増加）</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、統一した手法により香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えることによる「オリーブハマチ」について、オリーブの植樹を行うことでオリーブ葉の安定供給により増産を図る。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、アオノリ養殖の新規事業化に取り組むとともに、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組む。 <p>○漁業体験型イベントによる外国人観光客の誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県、水産関連団体と連携し、高松空港への直行便が就航している台湾、中国、韓国からの団体客を中心とした外国人観光客を、魚釣り、養殖魚への餌やり、地引網体験などの体験型イベントに誘客することで、消費拡大につなげる。 <p>○漁港施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県に対し、クレーン設備等漁業作業効率化につな
---------------------	---

	<p>がる漁港施設の整備を働きかける。</p> <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理や藻礁の設置等藻場・干潟の保全等を地域住民の参加や理解を得る形で行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 6.0%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・33名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

4年目(平成29年度)

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 2.4%増加)</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、統一した手法により香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えることによる「オリーブハマチ」について、オリーブの植樹を行うことでオリーブ葉の安定供給により増産を図る。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、アオノリ養殖の新規事業化に取り
--------------	--

	<p>組むとともに、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組む。 <p>○漁業体験型イベントによる外国人観光客の誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県、水産関連団体と連携し、高松空港への直行便が就航している台湾、中国、韓国からの団体客を中心とした外国人観光客を、魚釣り、養殖魚への餌やり、地引網体験などの体験型イベントに誘客することで、消費拡大につなげる。 <p>○漁港施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県に対し、クレーン設備等漁業作業効率化につながる漁港施設の整備を働きかける。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理や藻礁の設置等藻場・干潟の保全等を地域住民の参加や理解を得る形で行う。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 6.5%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・33名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

5年目（平成30年度）

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

<p>漁業収入向上の</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 3.0%増加)</p>
-----------------------	---

<p>ための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○魚類養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、統一した手法により香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えることによる「オリーブハマチ」について、オリーブの植樹を行うことでオリーブ葉の安定供給により増産を図る。 ○ノリ養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、アオノリ養殖の新規事業化に取り組むとともに、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取り組む。 ○漁業体験型イベントによる外国人観光客の誘客 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県、水産関連団体と連携し、高松空港への直行便が就航している台湾、中国、韓国からの団体客を中心とした外国人観光客を、魚釣り、養殖魚への餌やり、地引網体験などの体験型イベントに誘客することで、消費拡大につなげる。 ○漁港施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は県に対し、クレーン設備等漁業作業効率化につながる漁港施設の整備を働きかける。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ふらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理や藻礁の設置等藻場・干潟の保全等を地域住民の参加や理解を得る形で行う。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 7.0%削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油 <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・33名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚類養殖業給餌コストの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 ○養殖カキ殻の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ

	<p>殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

(4) 関係機関との連携

<p>○香川県水産試験場との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。 <p>○他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の漁業協同組合とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 %以上	基準年	平成 年度：漁業所得	千円
	目標年	平成 年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
<ul style="list-style-type: none"> ・省燃油活動推進事業 [国] 	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器等導入推進事業 [国] 	<p>省エネ機器への換装を促進し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] 	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業収入安定対策事業 [国] 	<p>漁業者の収入安定を図り、漁業経営の基盤を強化することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] 	<p>沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] 	<p>ノリの色落ち・安定生産等の対策に取り組むことにより、ノリの価格を安定させ、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・香川県水産振興総合対策事業 [県] 	<p>水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物開発支援事業 [県] 	<p>地域特産物開発支援・特産水産物開発研究を進めることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>